

ごあいさつ

第57代理事長
高橋 重尚



いつも、多くの皆さんからJIC活動に応援いただいていることを感謝申し上げます。2015年度はスローガンに「先駆」と掲げさせていただき、「過去によって築かれた今に立って未来を臨み、可能性を切り拓く」との基本理念の下で活動させていただきました。現在は全て過去からの積み重ねであり、新たな可能性はそこに立ってこそ見ることができると考えています。自分たちが思う自分たちの周りの課題に取り組んでまいりました。

まず、青年経済人という基本的な位置に立ち返り、その学びを得るべく活動しました。まちづくりでは、今ある小千谷の魅力

を比類なき物にまで突き抜けさせると共に、小千谷に将来も住む自分を思い描いてもらいたく活動しました。青少年健全育成においては「思いやり」をキーワードに、今までのわんぱく相撲での伝えを、私たちがからではなく、小学生の先輩から後輩へ伝えていただく活動しました。教育については、過去に培われ、現在でもその輝きを失わない価値観を未来へと繋いでいく活動をしました。

力不足、時間不足により成し得ることができなかったり、その結果として皆さまにご迷惑をおかけしたりということもあつたかと思ひます。しかし、この未熟な、完成し切れていない者だからこそその発想と行動で、この地域でお世話になっている者として切磋琢磨していく所存ですので、これからも応援を宜しくお願い致します。

2015年度の主な活動

1月	小千谷市長を表敬訪問 / 1月例会・新年祝賀会を開催 / 京都会議に出席	7月	《地方創生》小千谷市総合戦略・次期総合計画策定に係る意見交換会に参加 地区フォーラム2015 in 小矢部に参加 7月例会 現在(いま)を見つめ直し、未来(あす)を切り拓け～人生の大海原へ～を開催 公益社団法人日本青年会議所 SUMMER CONFERENCE 2015 に参加
2月	第1回新潟ブロックコンファレンスに参加 / 2月通常総会を開催 2月例会 経世済民の精神(こころ)～「企業理念」の大切さを考える～を開催 新潟ブロック協議会日本核心委員会の公開委員会を開催	8月	2015年度8月臨時総会を開催 / おぢやまつり前夜祭にてそば一を配布 若板大花火大会にてそば一を配布
3月	おぢや風船一揆に参加 / 2015年度 Forum21 3月度合同例会に参加	9月	第45回北陸信越地区新潟ブロック会員大会白根大会に参加 9月例会「JIC運動会」を開催 / 山本山まつりにてそば一を配布
4月	小千谷市議会議員立候補予定者の一問一答形式動画「e-みらせん」を掲載 4月例会 経世済民の精神(こころ)～関わる人を120%ハッピーにする仕組み～を開催 世界マラリアデー 一斉街頭募金に参加	10月	10月例会 開催 / 第2回新潟ブロックコンファレンスに参加 おぢやフェスタ「感動体験ディスカバリー博」を開催 「家訓づくりプログラム」セミナー～「伝えたいことば」はなんですか～開催
5月	新潟ブロック協議会 第43回会員交流野球・ソフトボール大会に参加 第1回JICカップU-11少年少女サッカー大会 新潟県大会に参加 5月例会 我々が伝えたい「おもいやり」とは・・・を開催 わんぱく相撲小千谷場所を開催 / わんぱく県大会に向けて練習会を開始	11月	JCI WORLD CONGRESS 金沢大会「ウェルカムナイト」ブース出展 「行政との意見交換会」の開催
6月	防災フォーラム～災害時の連携を見据えたネットワークシミュレーション～に参加 6月例会 経世済民の精神～魔法使いの営業マンになるために～を開催 わんぱく相撲県大会上越場所に向けて結団式を挙げる / 第24回わんぱく相撲県大会上越場所参加 オリエンテーション～真の能力者は誰だ!? オレだ! 君だ!!～を開催 新潟ブロック協議会 第15回NBC会員交流サッカー大会に参加	12月	12月例会「忘年パーティー」を開催

相手を思いやることの大切さを (おもいやり委員会)

第29回わんぱく相撲小千谷場所開催

小千谷JICでは青少年の健全育成を目的とした、わんぱく相撲小千谷場所を1987年より継続事業として開催しております。近年では、参加人数が200名を超える全国的にも誇れる大規模な大会へと成長しております。

おもいやり委員会
委員長 小林重晴

おもいやり委員会では、子供たちの健全育成事業である本事業の開催にあたり、日本古来の伝統ある国技を通じて礼儀礼節を学ぶこと、そしてお互いの存在を尊重し合い、「おもいやりの気持ち」を持って接することの重要性を理解して貰うことを目的と致しました。本年度は、241名の子供たちによる熱戦が繰り広げられる中、最上級生である6年生には、「おもいやりスタッフ」として下級生への指導や声掛けのお手伝いをしていただき

ました。この経験により、相手をおもいやることの大切さを学んで貰うことが出来たのではないのでしょうか。

来年は記念すべき30回大会となります。この事業が30年もの長期に渡り継続できていることは、皆様のご理解とご協力があったことと感謝しております。「わんぱく相撲小千谷場所」が更に進化し、より良い事業となる為に努力してまいります。



取り組みの様子1▶



▲ 会場の様子



▲ おもいやりスタッフの様子



▲ 取り組みの様子2



経世済民の精神(こころ) (青経人育成の輪委員会)

2月例会

企業理念

経世済民の精神(こころ)～「企業理念」の大切さを考える～を開催

新潟県内の企業サポートや自らも「トキっ子くらぶ」を創設し地域経済の発展に寄与されているグローバルマーケティング株式会社 代表取締役 今井進太郎氏をお招きし、ご講演いただきました。

幼少期に見た長岡花火を見る側ではなく上げる側になりたいと思ったことが、会社を立ち上げるきっかけとなったことや、会社の運営がうまく行かない時に、ミッションステートメントを活用したことなどのご自身の経験談のほか、実在する企業を例にした企業理念が経営判断にとって重要であることを示すエピソード、自分を信じて進んでいくことの大切さを述べられ、ご自分の経験談を踏まえて親しみやすく分かり易いご講演をしていただきました。

4月例会

マーケティング

経世済民の精神(こころ)～関わる人を120%ハッピーにする仕組み～を開催

講師に日本ビジネスアカデミアの代表として、全国各地で経営者育成のためのセミナーを開催している加藤昌樹氏をお招きし、ご講演いただきました。

講演では挫折や失敗から自殺寸前まで追い詰められた自らの過去や、そこから這い上がった経緯などを交えながら、会

社においてミッション、ビジョンを明確に示すことの大切さ、見込み客を固定客化させることの重要性などをご講演いただきました。「自分が前向きでハッピーな気持ちでいれば、周りの人間も同じようにハッピーになる」という言葉が特に印象的でした。

6月例会

営業力

経世済民の精神(こころ)～魔法使いの営業マンになるために～を開催

中小ベンチャー企業の売り上げを伸ばすための営業コンサルティング事業を展開するイーエスピー株式会社 代表取締役 花田敏氏を講師にお招きし、セールスプロセスや手法について学びました。

講演では営業は信頼関係が最も大切であるということをおっしゃっていました。普段何気なく行っている名刺交換は顧客や見込み客の情報を得る重要な手段であり、交換した

名刺を整理保管し、電話やはがき等でのアプローチを定期的に行なっているというお話が特に印象に残りました。

最後には隣同士二人一組で、営業において大切なことをロールプレイング形式で実践しました。アプローチの仕方やプレゼンテーションのポイント等を楽しみながら分かり易く学ぶことが出来ました。

7月例会

現在(いま)を見つめ直し、未来(あす)を切り拓け～人生の大海原へ～を開催

2月、4月、6月例会で学んだ知識をパーツとして組み上げ、事業所の発展に役立てるための集大成とするという考えのもと、2月例会でご講演いただいた今井進太郎氏を再び講師にお招きし、7月例会を開催しました。メンバーがグループごとに分かれ、チェックシートを使い企業理念、マーケティング、営業力の3つの項目から問題点を明確にし、講師の今井氏からアドバイスをいただきながら解決策を話し合いました。

今井氏は、社員がきちんと企業理念を理解して仕事をする、また経営者は社員にそれを理解させ浸透させること、自社の売りを明確にし、新しいお客様に伝えていくことによって、必ず会社は発展していくことを話されました。「営業」=「親切活動」と考えると、必ず売り上げが伸びるといふ言葉が特に印象的でした。

青経人育成の輪委員会
委員長 伴 泰範

私たち青経人育成の輪委員会は、主としてメンバーの多くが後継者という現状を踏まえ、経済の言葉の語源でもある経世済民の精神を学び、起業する力や発想する力をつけるべく、約半年に渡り、4つ例会を実施しました。また、学ぼうとする姿勢を持った青年経済人の輪を大きくすることで、微

力ながら小千谷経済の一助になればと思ひ、活動してまいりました。

今後もこの半年間の政経セミナーで学んだことを忘れず活動してまいります。足を運んでくださった皆さん、誠にありがとうございました。



▲ 例会の様子



7月例会 集合写真▶



小千谷の未来を担う若者へ郷土愛醸成 (まちづくりディスカバリー委員会)

おぢやれフェスタ2015 ～感動体験ディスカバリー博～ を開催

今年のおぢやれフェスタは「感動体験」をテーマに白山運動公園という広い敷地を生かした場所での開催となりました。市民の皆さんに10年、20年後の小千谷の未来を思い描いていただき、もっと小千谷を好きになっていただきたいという思いで開催いたしました。

当日は天気にも恵まれ、気球試乗体験も大盛況でした。多くの方に小千谷の魅力である気球を試乗してもらうことで、気球の魅力を体いっぱい感じてもらう、記憶に残る思い出を作ってもらったのではと思っています。

例年人気だった飲食店、体験ブース出展者の方々に今年もご協力いただきました。また、ステージイベントでは、市内の園児さんや町内会のお囃子、中学校の吹奏楽部の皆さんの演奏などで楽しんでいただきました。



▲ 気球と闘牛



▲ ステージの様子



▲ はたらくクルマの展示



▲ 新潟大学小千谷ブランディングプロジェクト
おぢやかるたの様子



▲ 錦鯉の展示



▲ 鉄工電子工作体験の様子

市内イベントで「そばるーん」を無料配布

気球を模した綿あめ『そばるーん』は、市民の皆さんに気球を身近に感じてもらうことを目的に製作しました。『そばるーん』には綿あめの付け合わせとして、小千谷の老舗そば店の生蕎麦をフライしたものを使用しました。この『そばるーん』というネーミングには、『身近な魅力=傍にある魅力=蕎麦にある魅力』と連想し、気球が身近な存在となり、へぎそばと同じように小千谷を代表する魅力へと昇華して欲しいという願いを込めています。

そばるーんポスター ▶



小千谷市議会議員立候補予定者の一問一答形式動画「e-みらせん」を掲載

4月26日に行われた小千谷市議会議員一般選挙。小千谷JCでは、有権者一人ひとりが当事者意識を持ち、立候補者の政策(考え)を理解した上で投票すること(政策本位による政治選択)が、より良い明るい豊かな社会の実現へと繋がるのだと考え、立候補予定者の一問一答形式の動画「e-みらせん」の撮影

を行いインターネットサイトにアップしました。「e-みらせん」は、政策本位による政治選択を実現するため、選挙に際して「いつでも、どこでも、政策を知ることができる」ためのツールとして公益社団法人日本青年会議所によってはじめられました。

まちづくりディスカバリー委員会
委員長 黒崎智大

本年度当委員会は、小千谷の未来を担う若い世代の郷土愛醸成と小千谷の特化した魅力の確立を目指して活動してまいりました。

4月に行われました小千谷市議会議員選挙におきまして、立候補者のまちづくり構想を述べた動画を有権者がインターネット上から閲覧できる「e-みらせん」を実施しました。

また、おぢや風船一揆は全国でも唯一雪原で行われる熱気球の大会であり、その熱気球の魅力をもっと小千谷の皆さんに知ってもらうため、綿あめと揚げそば入りのカップで気球に模した新ゆるフード「そばるーん」を各種イベントにて配布し、発信してまいりました。

そして白山運動公園という自然に囲まれた広い立地を活用し、今年で4回目を迎える『おぢやれフェスタ2015～感動体験ディスカバリー博～』を開催しました。

当日は、約4,000名の方々にご来場いただきました。晴天に恵まれ、熱気球や闘牛の他、多くの小千谷の魅力を体験し、感動していただき、たくさんの方の笑顔を見ることができました。

各事業にご協力、ご参加いただきました皆さんにこころより感謝申し上げます。

小千谷を世界へ発信

11月3日に石川県金沢市、産業展示館にて行われたJCI世界会議金沢大会歓迎イベントに出展しました。

会場では様々なイベントが開催され、小千谷JCのブースでは、玉花火羊羹、蕎麦茶を世界各国から来日した外国のメンバー、国内のメンバーに提供させていただきました。

また小千谷観光協会さんの協力をいただき、小千谷市のアピールをしました。



▲ 小千谷JCブースの様子

「伝えたいことば」はなんですか (ひとの育み委員会)

『「家訓づくりプログラム」セミナー～「伝えたいことば」はなんですか～』を開催

子は親の鏡とも言われています。大人が子供の手本となる姿をみせることが大切です。大人が自ら正しいと思える価値観を見つけ出し行動していくことが必要だと考え、その一助としていただく

べく、講師として家訓ニストとして活動中の幡谷哲太郎氏をお迎えし、市内小中学校PTAの皆さんをお招きして開催しました。



「家訓づくりプログラム」の様子 ▶

ひとの育み委員会
委員長 本田啓邦

ひとの育み委員会では、『家訓づくりプログラム』セミナー～「伝えたいことば」はなんですか～という事業を10月27日に開催致しました。このプログラムは、堅苦しい座学という形ではなく、アイスブレイクやグループワークを通じ、自分たちが10年前、20年前の子供だった頃、大人に言われた大切だと思うことばを探し、そこから「伝えたいことば」として家訓をつくるというプログラムです。今回は、より楽し

く分かりやすくするために、小千谷地域の偉人が残した家訓の紹介など、工夫を盛り込んだ形での開催となりました。また、当日それぞれに作成していただいた家訓は小さめの色紙に記入し、飾れるように作成していただきました。当日は40名に迫る多くのPTA役員の皆さんにご参加いただき、共に時間を共有できたことに心より感謝申し上げます。

家訓づくりプログラムのご案内

家族で大切にしたいこと探してみませんか？
家族で大切にしたいことそれが家訓です

家訓づくりプログラムの3つの特徴

- その1 「家訓」を楽しく作成できます。
- その2 特別な資料や、プログラム自体は費用もかかりません。(会場費などは別途となります。)
- その3 受講したその日から実践できる内容で高い効果をもたらします。

参加者の声

- ・楽しく参加できた。自分の両親の言葉、思いに感謝。
- ・とてもいい雰囲気の中で、改めて「家訓」というものについて考えさせられました。大変ありがとうございました。
- ・何気ない日常生活の中で、こんなにも伝えたい事がたくさんあるという事を改めて考えさせられた良い機会となりました。ありがとうございました。今後の子供達への接し方の参考にさせていただきます。講師の方の話方も非常に分かりやすくて良かったです。

ご興味がありましたら家訓プログラムについてご紹介させていただきます

行政と共に

行政との意見交換会を開催

行政との意見交換会は、小千谷JCの活動についてご報告し、理解を深めたいとく共に、行政の皆さんより小千谷市の現状などをお話していただくことで市政について理解を深める機会を設けるという目的で開催しています。

人口問題プロジェクト、小千谷市総合戦略・次期総合計画策定について、地域振興課設置の経緯やねらい、業務内容、原簿問題等についてご説明いただきました。

日頃、各事業を開催するにあたり、行政の皆さんには多大なるご協力をいただいております。これからも行政の皆さんとの連携を深め、小千谷の発展のために小千谷JCメンバー一同、精一杯活動に取り組んでまいります。



▲ 意見交換会の様子



2016年度理事長予定者 ごあいさつ



第58代理事長予定者
池 雄太

(一社)小千谷青年会議所2016年度理事長予定者の池雄太と申します。

基本理念「すべてはこの地域の人と社会の明日のために」、スローガン「試～just do it～」と掲げ、青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築くために精一杯活動、運動を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員募集 小千谷青年会議所では随時、新入会員を募集しております。

40代以降の人生は、20代、30代に何をしたかで決まると言われています。

① 必ず人脈が広がります。

地元、全国を問わずJCでなければ出会えない人々と出合いのチャンスがあります。また活動の中で生涯の仲間ができ、深い絆を築くことができます。

② 必ず自己成長できます。

JCならではの様々なセミナーや自己啓発トレーニングを体験することができます。また各種事業を企画から運営/検証まで行う中で様々なことを学び、それを会社や地域にフィードバックできます。



小千谷JC

検索

お問い合わせ：一般社団法人小千谷青年会議所 事務局
(小千谷商工会議所内)
担当：牛藤 TEL:0258-81-1300 E-mail: info@ojiyajc.org